

5 株式会社マイファーム（千葉県・茨城県）

産地の概要



品目

トウキ（オオブカトウキ）

栽培面積

1.6ha

栽培戸数

16戸（令和6年10月時点）

取組体制

株式会社マイファーム（以下、マイファーム）
（生産者の調整、試験栽培の実施、栽培技術指導、トウキの加工調製、品質管理、実需者との調整）
委託生産者（トウキの生産、出荷）
株式会社ツムラ（以下、ツムラ）（トウキの買い上げ、種子供給）

特徴

収穫以降の加工調製をマイファームが担うことで加工品の品質の均一化、農家の負担軽減。地域に適した栽培マニュアルを独自作成

取組の背景

マイファームは耕作放棄地の拡大および農業の担い手減少といった課題に対し、遊休農地の有効利用や輪作作物としての品目拡大、地域農業の担い手となる新規就農者の育成に取り組んできた。そのような中、医療用漢方製剤の原料となる生薬の栽培に関するノウハウを有しているツムラと連携し、国産生薬の生産量増加に向けて資本業務提携を実施し、平成29年よりトウキの生産拡大の取り組みを開始した。



▲栽培中の畑の状況

品目選定理由

- ・各種の情勢変化の影響により、中国からの生薬原料の調達が難しくなる一方で、国内需要は拡大している。
- ・トウキは、生薬の中で使用量が特に多く、消費需要が強いこと、農地を効率的に利用可能で大規模化が見込める畑作地帯で生産可能な品目であることから選定した。

課題

- ・トウキの栽培は冷涼地が中心であったため、千葉県の温暖な畑作地帯での栽培方法が未確立
- ・収穫後の加工調製作業が農家の労力的な負担
- ・生薬であるため実需者であるツムラからは品質の均一化が求められている

主な取組内容

①種苗

・育苗はマイファームが実施し、委託生産者へ安定的に供給する仕組みを確立

②栽培管理

・各地の栽培事例を元に、地域に適した栽培手順を独自に作成（平成31年～）
・作成した栽培手順を基に、生産者ごとの年間計画を作成、年間計画に従ってマイファームが施肥や防除のタイミング等、生産者の作業を細かく見守り、安定した生産を実施

③集出荷

・収穫後は集荷拠点に葉つき泥付きでコンテナ出荷され、加工調製が一括で実施できるため、生産者は効率的に一斉収穫が可能

④加工・調製

・マイファームにて、一括で加工調製を担い、販売先へ納入
・一括で加工調製を行うため、品質の均一化が確立



▲トウキの根



▲栽培歴

成果

取組当初は面積拡大を志向して、さまざまな畑で作付していたが、収量が伸び悩んだ。現在は生産者ごとの面積を限定して単収向上を目指し、将来の面積拡大に向けて活動をしている。

【取組による定量的な成果】

薬用作物栽培戸数：R元：5戸 → R6：16戸

今後の展開

- ・栽培計画に沿った栽培管理の徹底により単収向上を目指し、生産者数及び栽培面積の拡大を図る
- ・使用可能な登録農薬（特に殺菌剤）の種類が不足しているため、千葉県に登録拡大への協力を依頼している